





# あたたかい、素敵な空間 ひばりカフェ

## 「ピーチクパーチクひばり会&ねーぶるカフェ」

毎月第三木曜の午前中、要町バスターミナルの横、活動センターねーぶるのある、社会館生活支援センターぴぼつとの一階はとてにぎやかになります。「ピーチクパーチクひばり会」というサロンが開かれているからです。毎回二十名近くの地域の方々が参加され、世話役の方々が丁寧に準備された創作に取り組みます。皆さんとても集中されていて、毎回本当に素敵な作品が出来上がります。きれいな紙や布など、その時々によって様々な素材が使われ、出来上がった作品はぴぼつとの館内に飾られ、訪れる人の心を豊かに彩ってくれます。



「ピーチクパーチクひばり会」の方々が作品を作られている頃、奥のスペースでは、ねーぶるに通う障がいを持ったメンバーたちが、手挽きのコーヒーや手作りジュース、またクッキーなどの準備をしています。作品が出来上がった頃に、メンバーたちが緊張しながらお届けします。「ありがとう」と受け取っていただくと、メンバーたちもとてもホッとしたような、うれしそうな表情になります。このサロンに参加費はありませんが、コーヒーやジュースを一杯五十円で買っていただいています。障がい重いと言われるメンバーたちですが、地域の中で「仕事」ができること、持てる役割があるということは、本当にうれしいことだと感じています。

サロンに参加される方々は「次はいつあるの?」と毎回楽しみにされているそうです。世話役の方々も「準備は大変だけど、楽しいよ」と言ってくれます。たまに休んだ人のところへは世話役の方々が作品を届けてくれているそうです。地域の方たち同士、地域の方と障がいを持っているねーぶるのメンバーたち。そうした人々とのつながりを感じられるサロンだから、皆さんが来られるのだと思います。時々、他のグループのメンバーが、畑で育て収穫した野菜を販売させていただくこともあります。「いかがですか?」「じゃあこっちにくささい」にぎやかな声が飛び交います。ここでも「ありがとう」と買っていたら、メンバーたちはうれしそうな表情になります。あたたかい、素敵な空間です。



この「ピーチクパーチクひばり会」と「ねーぶるカフェ」のコラボレーションによる取り組みを略して「ひばりカフェ」と呼ばせていただきたいと思っています。どこか気軽にいけるところはありますか?と探されている方がいましたら、第三木曜の午前中、一度のぞいてみて、声をかけていただけたらと思います。

(活動センターねーぶる副所長 元田和宏)

# FUKUSHIMA リフレッシュキャンプin ぎぶ2017 感謝報告

四回目となる今回は、いわき市小名浜から十一名、郡山市とその周辺地域から八名が参加、うち女子は五名、小学一年生から中学生一年生まで幅広い参加層でしたが、みんな打ち解けてとても楽しい一週間であったようです。一日バスハイイクの行き先をどこにするのか、子どもたちに問いかけたところ、子ども会議をすることとなり、議長も子ども、それぞれ行きたい場所をプレゼンテーション、素晴らしいとりくみとなりました。結局、中学一年生男子の「白川郷は、歴史的遺産として登録されているような場所です。そこに行くことはとても意義があることと僕は思うので、白川郷に行くのが良いと思います。」との言葉が行き先を決定づけました。今回は、名古屋街見学を取り入れたところ、名古屋城にいきたいとの意見が多数あがり、まずは名古屋城見学となりました。名古屋高速から高層ビルが林立する名古屋市中心地をみた子どもは「わあ、名古屋は都会なんだよな」と再認識したことです。名古屋城見学では、「おもてなし武将隊」が思い出しに花を添えてくれました。そして名古屋港水族館を満喫して出口を出たとき、漆黒の雲に覆われた空に稲光、そして激しい雷雨。恐怖のなか、



社会館に到着すると、手作りの夕食が待っていて心癒されたようです。こうして最後の晩を、社会館でゆっくりと過ごし、嬉々として福島へと帰っていかしました。参加した小学三年生のある女子に二〇一一年の東日本大震災のその日の話を聞く機会がありました。まだ三、四歳だったと考えられますが、忘れられない記憶のようです。「怖くてお父さんの膝の上でじっと揺れるのを我慢していたんだよ」と怯えるのを我慢していたんだよ」と怯える記憶であり、その時感じた恐怖心もずっと消えないのだからなと思われされました。

「来年も絶対参加するからね」との言葉とともに、「冬の集まりはやらないの」と新たな要望も出されたことです。その思いがある限りは継続しなければと考えています。この事業は、賛同して下さる皆様の指定寄付を財源に実施しています。多くの方に協力いただき誠にありがとうございます。おって、報告集を作成し、配布させて頂きます。

(常務理事 谷川 修)

聖書の言葉  
「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。」  
ヨハネによる福音書 十三章二十四節

今年も紅葉の美しい季節がやって来ました。春には桜を愛で、秋には紅葉狩りと、私たちは四季折々の美しい花々に心癒されています。美しい花はやがて枯れて実になり、種となります。

その種は土に時かれて芽生え、また新しい花を咲かせます。聖書はそれを「一粒の麦」にたとえて私たちに語りかけています。



## 「私たちにへのエール」

### 「命のバトン」

一人ひとり、大切な命が神様から与えられています。この命が神様から使って良いとされた時間ならば、喜んで、楽しく使わないこともつたないことです。ただし、「大人になつたら、出来るだけまわりの人のために使ってくださいね」と、日野原先生は話されたそうです。まわりの人のために時間を使うことは、神様の喜ばれる生き方です。そうしてこの生き方は知らない間にリレーの選手のように命のバトンを渡していくこととなるのです。さあ、今日という日をどのように使いましょか。神様、みんなの笑顔が輝くように私たちを用いてください!

(チャプレン)

杉本美由紀

今年の七月、百五歳で天に召された医師の日野原重明さんは長年、命の尊さを伝えることを使命として、「命の授業」というタイトルで全国の十歳の子も達と交流をさ

報告

◆発達センターちよだ夏まつり ～8月27日(日)～

8月27日(日)、通園に通っている子どもたちの作った提灯で灯りをとちよ中、15回目の夏まつりを開催しました。

今年は、お父さんの焼き鳥屋さんの隣で、OBのお店も出店！現役のお父さん、OBのお父さんが交流しながら、夏まつりを盛り上げてくれました。

お母さんたちのお店も、子どもたちに大人気！でした。

15回目を記念して、恒例の餅まきは、当たりの景品付き！いつもと違う楽しみのある餅まきになりました。

女性会さんを始め、地域のみなさん・ボランティアさんにご協力いただきました。

来場して下さった皆さん、ご協力して下さった皆さんありがとうございました。



(発達センターちよだ 後藤明子)

◆発達センターあつたあつたかカーニバル vol.14 ～9月2日(土)～

発達センターあつたでは、「よってらっしゃい、みてらっしゃい!!ばかばか広がりみんなのあつた」をサブテーマに、あつたかカーニバルvol.14を2017年9月2日(土)に開催しました。あつたに通う子どもたちのとりくみをはじめ、OBの子どもたちや親御さんでつくるぼほバンド、チアリーディングや和太鼓、参加型ゲームなどの舞台プログラムを来場されたみなさんで楽しみ、温かいお祭りとなりました。

当日は、地域の方々やOBの子どもたち、親御さん、旧職員など650人を超えるたくさんの方々にご来場いただき、懐かしい顔ぶれに会えたことも嬉しいあつたかカーニバルでした。協賛、出店頂いた皆様、ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

(発達センターあつた 村田美佐子)

◆東部地域療育センターぼけっと 緑ぼけまつり ～9月9日(土)～

名古屋ライトハウス緑風と東部地域療育センターぼけっとが合同で行なっている「緑ぼけまつり」を9月9日に行いました。お天気に恵まれたことや、年々地域からの来場者が増えたこともあり、今年は1,000名近くの来場者数でした!!

ステージでは楽器演奏やうた、大道芸、エイサーなど盛り上がりました。最後の打ち上げ花火では、夜間に舞う花火にみんなが見入ったり、歓声もあがっていました。たくさんのご参加ありがとうございました。



(東部地域療育センターぼけっと 丹羽悠子)

◆社会館創立57年 全体職員会開催 ～9月26日(火)～

当法人創立記念日にあたる9月26日：熱田文化小劇場にて、創立57年公開講座及び記念式典をおこないました。フォトジャーナリスト 安田津津紀さんの公開講演会から始まり、社会館の全職員と関係者にも呼びかけ250名の参加で行いました。

記念式典では、理事長より「キリスト教精神に基づく救済活動と地域住民の要望から生まれた社会館」が「社会福祉法人」が問われている昨今、職員、役員、後援会そして利用者の方とのみんなで法人の働きの向上に励む事が語られました。併せて永年勤続20年の3名10年の7名計10名の方の表彰を行いました。

(法人事務局 渋谷文平)

2017年社会館バザー

テーマ：つながろうつなげよう みんなの輪 社会館バザー 2017

開催日時：11月23日 10時30分～14時30分

開催場所 名古屋市南区三吉町6-17

名古屋キリスト教社会館 敷地内

おいしい食べ物、参加型のステージ、社会館脱出ゲーム等の楽しいイベントが盛りだくさん！ 掘り出し物もいっぱい!! ぜひお越しください。

『今年の重点目標』

～2019年オープン予定 このまちと暮らしたい 社会館2号館建設資金作り～

『バザー物品募集』お家に眠っている品物がありましたらお譲りください!!

連絡を頂ければ取りにうかがいます。

問い合わせ先

南部地域療育センターそよ風 TEL 052-612-3433 担当：水野

大盛況!! 『KONOMACHI TO ODORITAI!』 社会館夏まつり2017!

今年度はみんなで踊ろう! 踊りたい! という実行委員会の皆さんの願いから、テーマや全体企画を考えた社会館夏まつり。天候にも恵まれ8月26日に第36回社会館夏まつりを開催することが出来ました。

今年度の全体企画では、各事業所の利用者、子どもたちもステージにのぼり踊りを楽しみました。また、光る腕輪をはめることで、会場が一体感を持つ祭りとなりました。たくさんのご参加ありがとうございました。

今年度は夏祭りの売り上げから、西館二号館建設募金として一部を寄付させていただきました。地域の皆様、利用者の皆様のご支援ご協力に感謝いたします。

(名古屋キリスト教社会館夏まつり実行委員会一同)

みんなで祝うクリスマス会

日時：2017年12月2日(土)

午後2時30分～4時

会場：名古屋キリスト教社会館

3階ホール(菜の花保育園遊戯室)

内容：杉本チャプレンによる

クリスマスのお話

中部学院大学聖歌隊による合唱

ティータイム

どなたでも参加頂けます。どうぞお気軽にご参加ください。教会のそれとは違い、さりどて商業主義的でないクリスマス会ですよ。

クリスマス献金のごお願い

救い主イエスのご降誕を世界中の人々と共に喜び迎えたいと思います。

クリスマスの時に、かけがえのない命が大事にされる平和な社会形成を求めて歩むことを心に刻み、祈りたいと思います。社会館には、そのことを願い、制度上保障されない働きがいくつもあります。それら事業を支えるためのご支援を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

クリスマス献金送付先 振込先 郵便為替 00840-3-1576 口座名 社会福祉法人名古屋キリスト教社会館

お手軽レシピ 朝ご飯に! 朝ご飯に! 朝ご飯に! 朝ご飯に! 朝ご飯に!



〇材料 (子ども4人分)

食パン... 2枚 (厚さはお好みで)

A { ジャコ ... 大さじ2 マヨネーズ ... 大さじ2 きざみ海苔 ... 適量

〇作り方

- ①Aを混ぜ合わせ、食パンに塗り伸ばす。
②トースターで焼き目がつくよう程よく焼く。
③4つ切り等、食べやすいように切り分ければ完成。(菜の花保育園 栄養士 上村優成)

☆ジャコの代わりに鮭フレークやシーチキンを使ったり、チーズを乗せたりしても美味しいですよ!

健康づくりワンポイント

対処法 (一例です)

- ①お風呂に入って身体をしっかりと温め、血液の循環をよくする
②首の運動 (前屈、後屈、左右側屈、左右回旋)
③肩の運動 (両肩をあげる、両肩を下げる)

スッキリした身体で朝を迎えられることを願って♡

(東部地域療育センターぼけっと リハビリスタッフ)

肩こりは、首の後ろから背中、肩にかけての、筋のつっぱり感とだるさ、重さ、疲労感、ときに痛みを伴う症状の総称です。筋肉の疲労によるものと、何らかの原疾患によるものとに二分されます。今回は、前者の筋肉の疲労による肩こりの原因と対処法のひとつを紹介いたします。原疾患によらない肩こりには、①長時間の同一姿勢保持・姿勢異常、②過労、③寒冷、④精神的緊張・ストレス といったことが要因で、首の後ろから背中、肩にかけての筋肉が無意識的な持続的筋収縮を伴い、筋血流の停滞が生じて筋中の老廃物が十分に洗い流されないために筋肉の疲労が慢性化したものと考えられています。

苦情申し出の窓口

苦情の申し出窓口は、各事業所掲示板等に掲示しています。苦情受付者は主任、解決者は事業所長が基本です。

法人への苦情は、本部事務局 612-3370 へお願いします。

また、法人職員ではなく、第三者の立場として苦情を受け、より良い解決へと導く立場の者として、第三者委員を選任しています。

第三者委員は、 仲田 伸輝 821-0570 小林 冴子 611-0401 湯浅 登 0562-83-4407

編集後記

編集に携わっていると、当然すべての文章に目を通すことになる。読みながら、この通信もかなりの分量になっているなと毎回感じている。法人内の事業の拡大に伴い、地域への発信量も増えている。読んでくださる方に読みやすい紙面構成になっているか。そろそろ一度見直す時期が来しそうです。今回はみどり菜の花保育園の特集。初めてみどり菜の花保育園近隣地域の新聞にも折り込む。率直な感想が読んだ方から聞けると嬉しいと思う。(A.S.)

献金・協賛報告

ご協力頂いております方々のご芳名を掲載し、報告とお礼とさせていただきます。(敬称略・順不同) 二〇一七年七月十日 十月十三日まで

- 〔一般寄付〕 岡村恒義・日本アライアンス教団名古屋キリスト教会・植田望・瀧川裕康・佐竹敬子・末永和也・仲田忠夫・山本裕子・稲松義人・高着登希江・高山明子・手嶋義勝・杉浦典男・和田貞子・田畑洋子
〔災害支援指定〕 久野富章・石田喜樹・岩田悦〔西館建設指定〕 山田朋久・蛭谷照代・岡村恒義・伊藤輝人・江尻寛・加藤淳・佐藤明裕・土肥悟・福武馨・松永喜久代・武藤玲子・元田和宏・山口里子・湧井規子・安藤京子・蛭谷淳一・チャリティーイベント実行委員会・後援会・杉田大樹・林英樹・株式会社マルワ代表取締役島原久資・植田望・末永和也・遠藤和弘・久野富章・杉江幸茂・山田方子・金山学・仲田忠夫・並河茂・両角弘夫・藤はるみ・渡邊綾香・大岡孝司・加藤ミドリ・磯部徹・オリエンタルビル株式会社・穴戸健夫・武田美和子・堀池育志・尾関明・小林恵美子・林あさ子・森美由紀・磯部モーターズ・磯部昌治・岩田悦・上田陽寿・久保雅子
〔東部地域療育センター〕 安田周平
〔発達センターちよだ指定〕 石橋幸司・土屋久典
〔南部地域療育センター〕 林様
〔インサービス友寄付〕 山口愛子
〔EUCSHIMA リフレッシュセンター〕 岡村恒義・瀧川裕康・丹波雅弘・渡邊綾香・小林冴子・加藤肇子・杉浦ミドリ・株式会社アジヤ・陽寿・高着登希江・加藤久美子・久野絹枝・加藤多江子・山中秀生・小長寛子・恒川修
〔東部地域療育センター〕 ぼけっと指定

高橋泰子・永井壽美子・松田子・村登代子・山本裕子・横山典子・大島孝三郎・神谷辰男・高着登希江・株式会社谷口商会・藤瀬房子・川口桂子・久野あかね・小原貴史・小玉泰男・そよ風親の会・そよ風卒園児親の会・松尾修・ゆうぎ研究会・藤野興一・野呂妙子・岡村樹里・岡村千咲・森弘子・吉田正樹・藤木久元・植木信一・小宮一子・島田佳苗・恒川修・村松たつ子・山下満広・小川真紀・田村富士雄・宮本貴夫・須藤昌子・田中礼子・今本千里・支援部有志・田畑洋子・ツエムシー門田・ぼけっと有志・石川雅之・岡田敏男・伊藤謙一・神谷友之・酒向純子・越美恵子・猪村礼子・2017夏まつり実行委員会・志村澄江・あつた職員一同・西館建設募金委員会・高年齢職員・原田明美